

## 平成29年度 長崎県立清峰高等学校学校関係者評価 報告

### 1 学校関係者評価委員

西尾 弘毅  
溜 美恵子  
吉福 弘司  
中村 尚広

### 2 学校関係者評価の内容

- ・学校側も先生方も学力向上・進路指導・学校行事・部活動が自主的に活動できるよう真剣に指導されている。
- ・校長、野球部監督、野球部の諸君に地域ボランティア「にこにこクリーンさざ」に協力頂いている。県内はもとより九州管内でも最も活躍しているボランティア団体として表彰を受けている。
- ・清峰高校の生徒は挨拶が良くできる。また、佐々小にはいろいろと協力して頂いており、町民も清峰を応援している方が多い。清峰は町の「誇り」である。
- ・校内のアンケート結果を見ると、生徒・保護者・職員ともに高評価で、清峰の教育活動が充実している現れである。
- ・1年生の評価が全体的に高い。総合学科への期待と学習意欲が感じられる。
- ・1年生の評価のなかで、「学校は生徒の進路実現のために効果的な就職や進学の指導を行っている」「学校は課題やノートチェックなどを実施して基礎学力の定着に努めている」「学校は丁寧でわかりやすい授業が行われている」の3項目については、評価が高いのに対し、「私は学力の向上に努めている」の項目の評価が低いのは、努力不足なのか、自己評価が低いのか不明である。
- ・2年生は1年次に比べ厳しい評価になっている。特に「学校はいじめ・暴力・窃盗などの問題行動の根絶のための指導を行っている」と「学校は相談しやすい環境や雰囲気を作っている」の評価が低いのが気になる。学校に対する慣れと部活動や進路に対する不安など、精神的に不安定になりやすい時期でもあり、問題行動も表面化しやすい。反面、中堅学年は、責任感が育まれリーダーが育つ時期でもある。さらなる、生徒育成をお願いしたい。
- ・3年生の評価が2年次に比べ飛躍的に高評価になっているのは、進路実現と学校生活の充実の表れであり、先生方の努力の賜である。
- ・「私は環境問題に関心があり、ゴミの分別など何らかの取組を実践している」の評価を上げるのは難しいが、ゴミ箱使用の工夫・改善や地域活動への参加などを通じて、環境問題に取り組むことも良いのではないかと。
- ・全体的に「私は学校行事に積極的に参加している」が下降気味ではないかと心配する。学校行事への参加は高い教育効果を得る機会である。全校生徒に鼓舞してもらいたい。
- ・図書研修関係の職員評価が上がっている。明確な数値目標など改善点が生かされたと思われる。
- ・時々ホームページを拝見しているが、更新もなされており見やすい。ネット社会において、この情報はとても大切であり、今後もよろしくお願いします。